

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
1 年 生 3 学 期 (算 数)	A数と計算 A(1)数の構成と表し方 20より大きいかず おなじ数ずつわけよう	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について3位数の表し方を知っている。 ・数を、十を単位にすることができる。 ・具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表すことができる。 	発言 ノート テスト	問題解決の過程や結果を具体物や図などを用いて表現する活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について3位数の表し方を知ろうとしたり、数を十を単位にしてみたり具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表したり、数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考えようとしている。また、それらを日常生活に生かそうとしたりしている。 		
	A数と計算 A(2)加法、減法 たしざんとひきざん ずをつかって考えよう	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりできる。 ・簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知っている。 	発言 ノート テスト	既習の数の味方に着目し、具体物や図などを用いて、未習の計算の仕方を見つける活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりしている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったり、簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ったり、計算の意味やその仕方を考えたり、日常生活に生かそうとしたりしている。 		
	B 図形 B(1)図形についての理解の基礎 かたちづくり	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いて形を作ったり分解したりできる。 ・前後、左右、上下などの方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 	発言 ノート テスト	身の回りの具体物を操作しながら形に親しむ活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いて形を作ったり分解したり、前後、左右、上下などの方向や位置についての言葉を用いてものの位置を表したり、ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。 		
	C測定 C(2)時刻の読み方 なんじ なんぶん	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で時刻を読むことができる。 	発言 ノート テスト	児童の日常生活との関連活動
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けている。 		
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で時刻を読んだり時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けようとしていたりしている。 		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
2 年 生 3 学 期 (算 数)	C測定 C(1)長さやかさの単位と測定 長い長さ	知識・技能	ア 長さの単位 (m) について知り、測定の意味を理解している。 イ 長さについて、およその見当を付け、単位を適切に選択して測定することができる。	発言 ノート テスト	・ 1 mものさしやテープものさしを使って実測する活動 ・ 自分の考えを、具体物や図、数や言葉を使って説明する活動
		思考・判断・表現	身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	長さの単位について知り、測定の意味を理解したり、長さについて、およその見当を付け、単位を適切に選択して測定したり、身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりしている。		
	A数と計算 A(1)数の構成と表し方 10000までの数 分数	知識・技能	エ 一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみることができる。 オ 簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。 カ $1/2$ 、 $1/3$ など簡単な分数について知っている。	発言 ノート テスト	・ 数カードを単位ごとに並べ、数の構成を確認する活動 ・ 自分の考えを、具体物や図、数、式、言葉を使って説明する活動
		思考・判断・表現	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみたり、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表したり、 $1/2$ 、 $1/3$ など簡単な分数について知ったり、数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしたりしている。		
	A数と計算 A(2)加法、減法 もんだいの考え方	知識・技能	ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質について理解している。 エ 加法と減法との相互関係について理解している。	発言 ノート テスト	・ 場面をテープ図に表して構造をとらえ、立式する活動 ・ 自分の考えを、図や数、式、言葉を使って説明する活動
		思考・判断・表現	数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	加法及び減法に関して成り立つ性質について理解したり、加法と減法との相互関係について理解したり、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
	B図形 B(1)三角形や四角形などの図形 はこの形	知識・技能	ウ 正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。	発言 ノート テスト	・ 箱の形の面を写しとったり、ひご粘土玉で箱の形を作ったりする活動 ・ 自分の考えを、具体物や図、数や言葉を使って説明する活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、身の回りのものの形を図形として捉えている。		
		主体的に学習に取り組む態度	正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり分解したり、図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、身の回りのものの形を図形として捉えたりしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 年 生 3 学 期 (算 数)	A数と計算 A(3) 乗法 かけ算の筆算(2)	知識・技能	ア 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解している。 イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ウ 乗法に関して成り立つ性質について理解している。	発表、ノート、テスト	数量の関係に着目し、数や式、言葉などを使って自分の考えを表現する活動
		思考・判断・表現	数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の項目を理解・習得したり、数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。		
	A数と計算 A(7) 数量の関係を表す式 □を使った式	知識・技能	数量の関係を表す式について理解するとともに、数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすることができる。	発表、ノート、テスト	図や式、言葉などを用いて計算の方法や自分の考えを表現する活動
		思考・判断・表現	数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	数量の関係を表す式について理解するとともに、数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたり、数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりしている。		
	A数と計算 A(8) そろばん そろばん	知識・技能	ア そろばんによる数の表し方について知っている。 イ 簡単な加法及び減法の計算の仕方について知り、計算することができる。	発表、ノート、観察	具体物を用いて、数や式、言葉を使って計算の方法や自分の考えを表現する活動
		思考・判断・表現	そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えている。		
		主体的に学習に取り組む態度	そろばんによる数の表し方について知ったり、簡単な加法及び減法の計算の仕方について知り、計算したり、そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えたりしている。		
	B 図形 B (1) 二等辺三角形、正三角形などの図形 三角形と角	知識・技能	ア 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目することができる。 イ 基本的な図形と関連して角について知っている。	発表、ノート、テスト	具体物や図、数、言葉などを使って自分の考えを表現する活動、生活の場面とつなげながら考える活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えている。		
		主体的に学習に取り組む態度	二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目したり、基本的な図形と関連して角について知ったり、図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えたりしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
4 年 生 3 学 期 (算 数)	A数と計算 A(4) 小数の仕組みとその計算 小数のかけ算とわり算	知識・技能	ア ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。 イ 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。 ウ 小数の加法及び減法の計算ができる。 エ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。	発言 ノート テスト	既習の数の見方に着目し、具体物や図などを用いて、 未習の計算の仕方を見つける活動
		思考・判断・表現	数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えとともに、それを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の項目を理解・習得したり、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えとともに、それを日常生活に生かそうとしたりしている。		
	A数と計算 A(5)同分母の分数の加法、減法 分数	知識・技能	ア 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。 イ 同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	発言 ノート テスト	問題解決の過程や結果を具体物や図などを用いて表現する活動
		思考・判断・表現	数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かしている。		
		主体的に学習に取り組む態度	簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ったり、同分母の分数の加法及び減法の計算ができたり、数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かそうとしたりしている。		
	B図形 B(3)ものの位置の表し方 直方体と立方体	知識・技能	ものの位置の表し方について理解することができる。	発言 ノート テスト	具体物を操作しながら物の形に親しむ活動
		思考・判断・表現	平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。		
		主体的に学習に取り組む態度	ものの位置の表し方について理解したり、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察したりしている。		
	B図形 B(2)ものの位置の表し方 直方体と立方体	知識・技能	ア 立方体、直方体について知っている。 イ 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。 ウ 見取図、展開図について知っている。	発言 ノート テスト	具体物を操作しながら物の形に親しむ活動
		思考・判断・表現	図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。		
		主体的に学習に取り組む態度	立方体、直方体について知ったり、直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解したり、見取図、展開図について知ったり、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直そうとしたりしている。		

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
5 年 生 3 学 期 (算 数)	A数と計算 A(6)数量の関係を表す式 □や△を使った式	知識・技能	数量の関係を表す式についての理解を深めることができる。	発言 ノート テスト	表を使って自分の考えを説明する活動
		思考・判断・表現	二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察している。		
		主体的に学習に取り組む態度	数量の関係を表す式についての理解を深めたり、二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察したりしている。		
	B図形 B(2)立体図形の性質 角柱と円柱	知識・技能	基本的な角柱や円柱について知っている。	発言 ノート テスト	立体のつくり注目して求め方を考える活動
思考・判断・表現		図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直している。			
主体的に学習に取り組む態度		基本的な角柱や円柱について知ったり、図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したりしている。			
B図形 B(3)平面図形の性質 図形の面積	知識・技能	三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。	発言 ノート テスト	図を使って自分の考えを説明する活動	
	思考・判断・表現	図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導いている。			
	主体的に学習に取り組む態度	三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解したり、図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高め、公式として導こうとしている。			
Dデータの活用 D(1)円グラフや帯グラフ 帯グラフと円グラフ	知識・技能	平均の意味について理解することができる。	発言 ノート テスト	グラフを用いて表現する活動	
	思考・判断・表現	概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	平均の意味について理解したり、概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしたりしている。			

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
6 年 生 3 学 期 (算 数)	Dデータの活用 D(1)データの考察 資料の調べ方	<p>知識・技能</p> <hr/> <p>思考・判断・表現</p> <hr/> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>ア 代表値の意味や求め方を理解することができる。</p> <p>イ 度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。</p> <p>ウ 目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。</p> <hr/> <p>目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。</p> <hr/> <p>代表値の意味や求め方を理解したり、度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解したり、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知ったり、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察したりしている。</p>	<p>発言 ノート テスト</p>	<p>ちらばりに注目し、表や平均など様々な比べ方を用いて考える活動。データについて考察した結果を伝え合う活動</p>